

関大魂

KANSAI UNIV.
1991年 法学部卒

ITO
TAKAE



関西大学

Kandai Memories...



弁護士・税理士

つなぐ、チカラ。兵庫から。

伊藤たかえ

「伊藤たかえ公式ホームページ」にて詳しい情報をご覧ください。

ito-takae.com

伊藤たかえ

検索



＼ 私も応援します！ /



がんばろう関大



矢田 立郎

伊藤たかえを励ます
関大有志の会
会長 前神戸市長

関大同窓のみなさまには、私の政治活動を温かくまた力強く支えて頂きました。いまもってその有り難さは忘れることはできません。同じく同窓の「伊藤たかえ」さんにとっても、関大生の応援ほど心強いものはないはずです。「伊藤」さんは、阪神・淡路大震災の年に、被災しながらも、復興のお役に立とうと決意し司法試験に合格した心の強い女性です。その伊藤さんが国政の立場で弱者のために戦うのは、素晴らしいことです。関大ならではの団結で応援をしていきたいと思います。



矢田会長も学んだ天六学舎

私たちは、「障がいを持つ人」を“挑戦する使命がある人”という意味の「チャレンジド」と呼んでいます。「弱者に福祉をしてあげる国」から、「弱者を弱者でなくしていくことを福祉と呼ぶ国」をめざし、真のセーフティネットを、みんなの総合力で創りあげたいのです。弱い立場の人に、弁護士として寄り添い、自立を応援してきた伊藤たかえさんは、そんな「現場の心」を必ず政治に届けてくれる人だと、確信しています。



竹中 ナミ

関西大学 客員教授
社会福祉法人
「フロップ・ステーション」
理事長



河田 恵昭

関西大学
社会安全学部 特任教授

私は、日本の防災研究は、神戸発であり、兵庫がトップだという自負心を持っています。国の未来を展望した時、防災・減災は、この兵庫から発信するという気概が必要です。伊藤たかえさんは、阪神・淡路大震災での被災体験を原点に、弁護士として一般住宅の耐震性などの問題に取り組んだ経験の持ち主。これは日本ではまだまだ遅れている分野です。防災・減災の「政策の壁」を突破してくれる人、それが伊藤さんだと期待しています。



日本初の社会安全学部がある
高槻ミュージックキャンパス

好評発売中!

伊藤たかえ著

ヒマワリのように、
希望に向かって

定価900円(税込)/株式会社 第三文明社



つなぐ
ホットライン

vol.02

発行所:伊藤たかえ後援会 〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-6 TEL 078-252-1911 FAX 078-252-1913

1. 「景気回復」を中小企業へ！

関大生が
兵庫経済発展の
先頭に！

伊藤たかえは、弁護士として企業再生に携わった経験を生かし、中小企業の活性化など、兵庫経済の発展に全力を尽くします。

- ① 景気的好循環で収入増へ。税制改革など中小企業の活性化を応援。
- ② 阪神高速湾岸線西伸部の早期完成を推進し、流通経済を活性化。
- ③ スパコン「京」など最先端技術の活用で、創業や新素材の開発を促進。
- ④ 輸出額の大幅アップへ、「攻めの農林水産業」を全力で推進。

2. 兵庫の「防災力」を未来に！

関大から
防災力の発信！

伊藤たかえは、阪神・淡路大震災を経験した一人として、兵庫の防災力を強化し、命を守るまちづくりを推進します。

- ① 防災・減災力を更に強化し、安心・安全の暮らし向上で定住を促進。
- ② 観光資源や食を「ブランド化」。「おいしい、楽しい兵庫」を世界に発信。
- ③ 神戸空港の活性化、阪神港の強化、外国人観光客の誘致で、消費を加速。

3. 「女性の視点」を政治に！

関大から活躍する
女性を社会に！

伊藤たかえは、女性の視点から、子育て・若者雇用・医療介護の支援に取り組み、全世代に「元気と安心」を届けます。

- ① 「認知症対策基本法」の実現や介護人材の育成など、医療・介護政策を前進。
- ② 女性や若者の就労を応援。働きやすく、暮らしやすい環境を整備。
- ③ 幼児教育や高校授業料の無償化など、子育てしやすい社会の実現を。



逍遙歌を高らかに、 関大の団結固く！ 神戸で関大有志の会

「伊藤たかえを励ます関大有志の会」(矢田立郎会長=前神戸市長)が3月31日、神戸市内で盛大に開催された。これは関西大学の卒業生有志の集いで、今回が1回目の会合。同窓の伊藤たかえさんが出席し、「あらゆる人に光が届く、一人に寄り添う政治の実現へ全力を挙げる」と決意を表明した。

会合は、開学130周年の佳節に関大生の絆と団結で伊藤さんを応援しようの熱気に溢れ、校友会、秀麗会の代表からの挨拶に続き、応援団を先頭に全員で逍遙歌を声高らかに歌いエールを送った。

矢田会長は、「弁護士の経験を生かし、国民全体の幸福に尽くす大きな活動を」と述べ、「関大ならではの団結で押し上げていただきたい」と呼び掛けた。



決意を表明する
伊藤さん(左)と、
矢田会長
=3月31日 神戸市

関西大学卒 弁護士・税理士 伊藤たかえ

弁護士、税理士。関西大学法学部を経て、阪神・淡路大震災が起きた1995年に司法試験に合格。大阪弁護士会人権擁護委員会副委員長。NPO法人「建築問題研究会」元理事長。兵庫県尼崎市生まれ、宝塚市在住。48歳。

関羽
大ば
生た
け！

ごあいさつ - “関大魂”を胸に全力で-

18年間、弁護士として中小企業の経営問題等に携わり、苦しむ人を守りたいとの一心で「未来の再建」に力を注いできました。日本の「景気回復」、「防災力の強化」へ、女性の視点を発揮していく。それが、必ず、元気な日本経済を取り戻す力になると確信します。「希望あふれる兵庫」の未来を築くため、「関大魂」を胸に全力で走り抜いて参ります。

関大から法曹界へ人材を - 法科大学院で教員を -

関大に法科大学院が開設された時から、弁護士の実務家教員として約5年間務めました。最若手だったこともあり、学生とは勉強面だけでなく、弁護士としての思いや仕事の魅力などを伝えて、社会に出てからも続けていける人間関係を築いていきたいと取り組んできました。関大そして関大法曹会の先輩方にお世話になった恩返しのおいで、後輩の皆さんが法曹界で活躍できるように関わることができました。

関大の思い出

- “段々畑”での語らい -

入学式での学生の多さ、法文坂での熱烈なサークル勧誘に、「大学生になったんだ」と実感しました。思い出の場所は、「段々畑」。今ではすっかり様変わりしましたが、勉学に励む間に、あの場所で学友と語り合いながら、楽しく食事したのを懐かしく思い出します。

関大今昔 Story

かつて広大なグラウンドや通称段々畑と呼ばれた観覧席があった場所は、現在、尚文館(大学院)や、学生憩いの芝生広場として新しい関大のシンボルになっています。

